

7月24日 市民の意見と市の回答の報告(要旨)

市長 市民からの意見、市長宛の要望書や署名もいただいた。直接、説明することが大切だと思った。負担付寄附のため市民への説明が議会議決後になった。通常の前向きな進め方に比べ、イレギュラーになり申し訳ない。美術館予定地周辺は、香里ヶ丘図書館やリニューアルされた商店街もあり、美術館ができることで賑わいの創出につながる。美術館建設を契機に老朽化している図書館の建て替えや公園のリノベーションなどの課題に取り組む。

香里ヶ丘中央公園の自然環境と調和し、修景に配慮し、公園と一体的に利用できる美術館にしたい。

部長 覚書の30年の用途制限 承認なしには変更できない 寄附者の承認があればできる。

問 白紙に戻してほしい 6000の署名を市長はどう受け止めるか。

市長 樹木も老朽化、リニューアルが必要。樹木の再整備を行う。四季を感じる木々 今よりグレードが高いものにする。署名はそれぞれのお考え 謙虚に受け止める。

問 中央公園は市民の公園、市長の一存で決めるのはおかしい。皆の承諾が必要だった。

部長 5メートル以上の木は50本ある。外来種ニセアカシア20本は伐採 アラカシ20本できるだけ移動 東側にはカエデ モミジなど四季を感じさせる木を植える。

問 この程度の美術館で市のイメージアップにつながるのか。

部長 美術館この地域のイメージアップにつながる

問 市長 副市長が私物化していることが問題。寄附者とどのような話があったのか。

市長 寄附者の思いを十分聞かせてもらった。どの場所がいいかは冷静に考えた結果。

問 賛成 香里団地の再開発に美術館の役割は重要 国宝級の美術品を設置できるか。図書館の整備順位は ボランティアの育成の準備は。

部長 国宝級も可能 香里図書館早急にリニューアルする。ボランティア育成に努める。

問 香里ヶ丘中央公園は宝物。木を切ってはいけない。場所の選定が悪い。

市長 現代的な要求に応えた公園に変える。公園のリノベーションをする。意思決定は一点の非もない。

問 条件付賛成 3月議会で議決した。

問 公園を削るのは時代錯誤。個人の節税対策。30年の覚書は問題。

市長 公園の中に文化施設をつくって新しい魅力を創る。7000万円はひとつの目安。

問 市の提案に庭園はなかつた。計画の全容がわかった段階でもう一度説明会を開くべき。一時避難地はコミュニティも認知している。

問 里山の面影のある公園をつぶさないでほしい。昔からの自然を残す。これが今の考え方。市民は喜んでない、納得していない。4月に全体像がわかっていただけに住民に知らせていない。

部長 利用状況の調査はしてないが、職員が何度も行ったがあまり利用されていない。

問 地元の意見を聞いていない。地方自治は民主主義の学校。イレギュラーなことをしてはいけない。

問 負担付寄附 問題が残る 賛成者も反対者も同じような疑問を持っていた。疑問に回答がない。建設費7億円の根拠あいまい。覚書の締結のし直しを。

問 枚方市全般の問題 このままでは夕張の二の舞。

市長 承諾なしに変更した場合には建設費用を返還。一部エリアではあるが公園のリノベーションを図る。伐採する緑に変わる木を植えてもらい さらにレベルアップにつなげる。

問 住民の声を大切にすればなら勇氣ある撤退を。市民を対象に市民会館で説明会をすべき。

問 以楽園 勝手に木を植えてひんしゅくを買っている。文化がわかっているのか。

問 総合文化20年たってもできない 美術館たった1年で決まった。この差は何か。

市長 総合文化施設の建設を進めようという中で、美術館の寄附の話があった。

部長 里山の保全 地面に陽が当たらなければならない。改変した場所でもととの里山ではない

市長 香里ヶ丘地域の活性化と住民の皆さまに親んでもらえるような美術館の整備に向けとりくむ。